

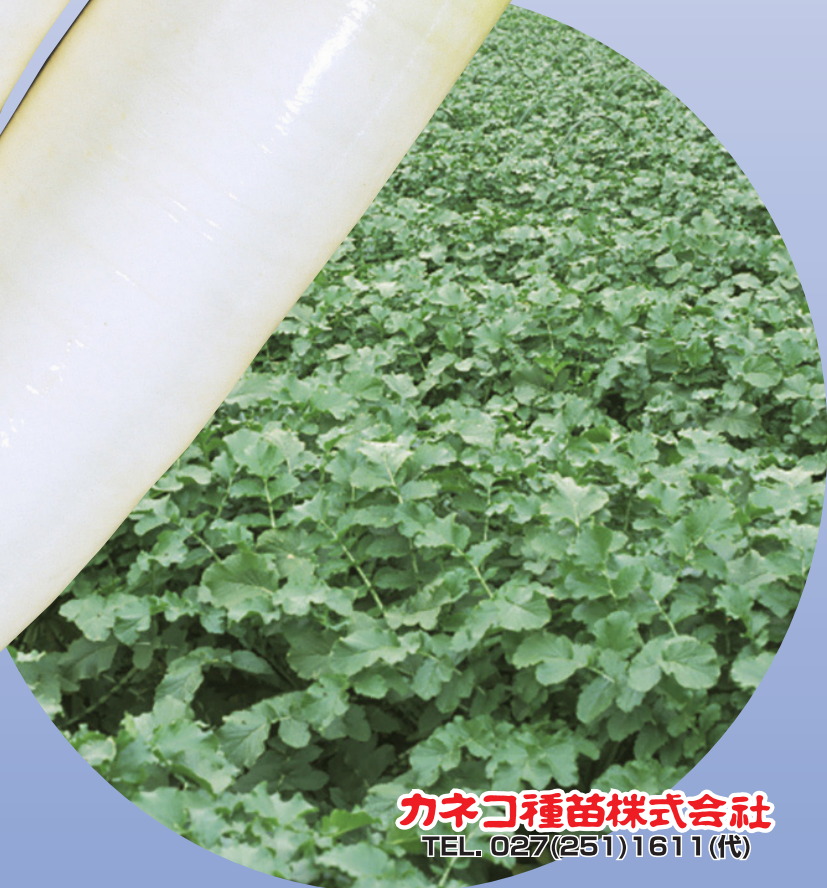
極晩抽性で、萎黄病に強く、根形・揃いの良い青首大根

(カネコ交配)
ダイコン ^み美 ^{はる}春

Radish, Miharu Hybrid



ふろふき大根



カネコ種苗株式会社
TEL. 027(251)1611(代)

極晩抽性で、萎黄病に強く、根形・揃いの良い青首ダイコン

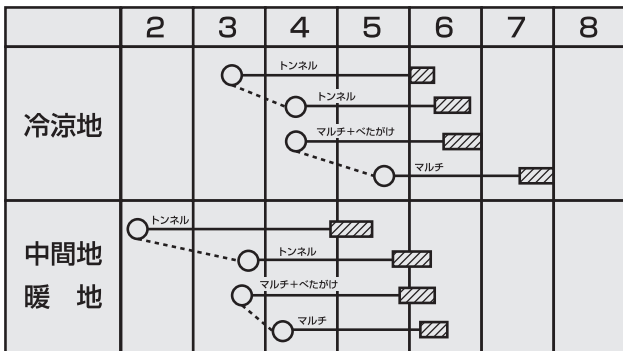
(カネコ交配) ^み美 ^{はる}春

Radish, Miharu Hybrid

●特 性●

- (1) 根形は尻詰まりの良い総太り型となり、曲がりが少なく、揃いの良い品種です。
- (2) 首部はやや淡い鮮緑色、肌はなめらかで、ヒゲ根は特に細いです。
- (3) 肉質緻密で、食味が良く、ス入りは特に遅いです。
- (4) 極晩抽性で、草姿は中間型、草勢はおとなしいです。
- (5) 萎黄病抵抗性で、各種の病害に耐病性を備え、生理障害の発生が少なく、作りやすい品種です。
- (6) 生育日数は、一般地の2月下旬まきトンネル栽培で75日程度、根長は35cm前後となります。
- (7) 作型は、一般地の2～3月まきトンネル栽培、冷涼地の4～5月まきマルチ栽培等に適しています。

●栽培作型●



○-○ 播種期 — 生育期 ▨ 収穫期

●栽培要点●

(1) 温度管理

初期は保温管理、後半は温度を下げる工夫が大切

トンネル栽培では、初期の20日間程度は、トンネル密閉等の保温管理を行います。ただし、極端な高温(35℃以上)になる場合は、生育初期といえども換気を行い温度を下げるのが大切です。

間引き時頃から換気を始め、その後徐々に換気を強めていきます。生育後半には、頃合いを見て、トンネルの除去を行います。

マルチ栽培では、初期に不織布等のべたがけを行うことをおすすめします。発芽揃い・初期生育の促進、抽苔の抑制、鳥害の防止などにつながります。

一方、生育の後半はマルチを除去するなどして、地温を下げる方が望ましいといえます。

(2) 施肥設計

温度が高くなる遅まき栽培ほど、窒素成分の施用量を少なくすることが必要です。下記を目安に、前作の残効や土壌の肥沃度などを考慮にいて、窒素施用量を調節します。

リン酸やカリは10～15kg/10a程度を目安に施用し、微量要素(ホウ素等)やミネラル類の補給は十分に行います。

また、土壌pHは弱酸性(pH6前後)となるように注意します。

★窒素施用量(成分量)の目安

- 中間地 2月まきトンネル栽培 N 8～10kg/10a
- 中間地 3月まきトンネル栽培 N 6～8kg/10a
- 冷涼地 5月まきマルチ栽培 N 5～6kg/10a

(3) 深耕・排水の改善

やや吸い込み性の地下部の肥大の良い品種ですので、サブソイラーや深耕ロータリー等で深耕を行い、水はけの良い畑とすることが望ましいといえます。

また、有機物の施用により土壌の物理性が改善され、良品・安定生産につながります。

(4) 病虫害防除

遅まきになるほど(特に、3月まき以降)、病虫害の発生が多くなるので注意します。

播種時に登録のある粒剤を土壌混和し、キスジノミハムシ等の被害を予防します。

また、定期的に登録のある殺虫剤+殺菌剤の散布を行い、アブラムシ、キスジノミハムシ、コナガ、ナンプ病等を防除します。

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12

TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
会員番号 10-001号

取扱店